

年月日 7.25

関連会議等 第1回正副会長会議 第2回実務委員会合同会議

### 協議・決定等特筆事項

師尾会長より開会の挨拶があり、実務委員会大友委員へ委嘱状が手渡された。その後、2025年度後半の全会主催の行事等について検討した。

#### 【報告事項】

1. 2025年度「研修会」について

事務局より、資料に基づき収支並びに『月刊卸薬業』6月号掲載の講演の記事等について報告があった。「研修会」出席者より、内容・時間配分等について意見を伺い、今後の開催の参考にすることとした。

2. 第58回日本薬剤師会学術大会（京都大会）について

事務局より、資料に基づき大会概要並びに分科会等について報告があった。

3. 実務委員会報告について

坂本副委員長より、全会ホームページ内《お役立ち情報》掲載のSDS提供メーカーリンクの見直し作業が終了し、8月に更新予定との報告があった。また、毒物・劇物事故対応マニュアルの見直しについては、次回委員会で引き続き検討するとの報告があった。

4. その他

澤井副会長より、薬制委員会にて現在検討している中抜け等返品事例データベース化の進捗状況について報告があった。

#### 【検討事項】

1. 2025年度「フォーラム」について

2025年度「フォーラム」開催要項案に基づき検討した。概ね第1回実務委員会で検討した内容で開催することとなり、特別講演については事務局より、オンライン診療を演題とする講師の提案があり、承認された。また、今回受講料徴収について外部委託をする旨の説明があり、その中で個人情報取扱規程が必要となるため規程案の提案があり、常任理事会に上程することとした。

2. 2026年度「理事会」「研修会」について

事務局より、2026年度「理事会」「研修会」の日程並びに会場について提案があり、検討した。2026年4月17日午後からトラストシティカンファレンス・丸の内で開催することとし、詳細については今後の会議で検討することとなった。

3. 会費の改定について

事務局より、医薬品卸の本社数及び全会会員数の変遷について説明があり、2026年度以降の会費について検討した。2008年に現在の会費に改定してから既に17年が経過し、その間の会員数の減少、会場費等の諸物価上昇などの理由により、2026年度からの会費値上げについて提案があった。会費値上げについて更に詳細な資料を用意し、検討を重ねたうえで常任理事会に上程することとした。

#### 4. その他

事務局より、今後の会議日程等について連絡があった。

本日で実務委員を退任される浅賀委員より、挨拶があった。

二宮副会長より挨拶があり、合同会議は閉会となった。

年月日 9.12

**関連会議等** 第3回実務委員会（Web 会議）

#### **協議・決定等特筆事項**

川守田委員長より挨拶があった後、2025 年度「フォーラム」、本会ホームページ内掲載資料の見直し等について検討した。

#### **【報告事項】**

##### 1. 2025 年会員数について

事務局より 2025 年会員数について、前年より 5 名減少し 1,791 名となり、増員となった支部が 12 支部、減員となった支部が 15 支部との報告があった。

##### 2. 2025 年度実務実習薬学生受入協力（2 期）について

事務局より医薬品卸による 2025 年度実務実習薬学生受入協力（2 期）について、1,428 名（42 支部）の薬学生を対象に実習を行った。また、1 期からの受入合計人数は 2,481 名となり、この結果を薬学教育協議会及び日本薬剤師会へ通知したとの報告があった。

##### 3. ホームページ更新担当者の順番について

実務委員の交代に伴い、10 月以降のホームページ更新担当者について確認した。

#### **【検討事項】**

##### 1. 2025 年度「フォーラム」について

プログラム（案）等に基づき、今後のタイムスケジュール並びに当日の役割について検討した。11 月より案内並びに受講受付を開始することとした。

##### 2. 毒物・劇物事故対応マニュアル見直しについて

本会ホームページ内、お役立ち情報に掲載の「毒物・劇物事故対応マニュアル」について内容の見直しを行った。厚生労働省ホームページに掲載の＜職場のあんぜんサイト＞に基づき作業を進め、品目数及び内容については今後検討することとした。

##### 3. 年会費の改定について

現行の年会費（6,000 円）への改定が行われてから 17 年が経過し、その間 294 名の会員の減少、度重なる税率の改定並びに物価の高騰等がある中、財政的課題を何とか乗り越えてきたが、本会の運営基盤の安定と持続的な発展に向けて、年会費の改定について提案があった。過去の収支決算書等を精査し支出の比較を行い、事務局において支出を抑えるための運営努力をしていることを確認した。今後、改定額及び時期を含め次回常任理事会に年会費の改定を上程することとした。

#### 4. その他

事務局より 2026 年度「理事会」及び「研修会」の開催予定について、並びに令和 7 年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会の概要について報告があった。

年月日 10.15

関連会議等 第 1 回常任理事会

協議・決定等特筆事項

師尾会長の開会挨拶、新任の副会長並びに常任理事の挨拶の後、2025 年度事業計画の中間報告、ブロック活動報告が行われ、2025 年度「フォーラム」の開催並びに年会費の改定等について協議した。

【報告事項】

I ≪2025 年度事業計画の中間報告≫

1. 卸勤務薬剤師会の運営

正副会長会議及び実務委員会等について開催状況の報告があった。

2. 都道府県薬剤師会と各ブロック（支部）との関係強化対策

（Ⅱ 常任理事より各ブロック（支部）の活動報告参照）

3. 実務実習薬学生受入報告について

9 月 30 日現在の実務実習薬学生受入状況について報告があった。

4. 支部における継続研修の充実

9 月 30 日現在の継続研修テーマの各都道府県支部選定状況及び活動内容等の報告があった。

5. 卸勤務薬剤師会主催の「研修会」及び「フォーラム」の運営

（1）「研修会」

4 月 18 日、トラストシティカンファレンス・丸の内において開催された、2025 年度「研修会」について受講者数並びに収支等の報告があった。

（2）「フォーラム」

2025 年度「フォーラム」は、2026 年 1 月 23 日に特別講演並びに日本医薬品卸売業連合会薬制委員会からの発表を中心に、ライブ配信にて開催予定との報告があった。

6. 日本薬剤師会への協力

（1）日薬卸薬剤師部会研修会

現在、2025 年 12 月 19 日にライブ配信にて研修会を企画しているとの報告があった。また、一條常任理事より、研修会開催内容の詳細、本会と日本薬剤師会との関係性等について報告があった。

（2）日本薬剤師会学術大会への協力

第 58 回日本薬剤師会学術大会（京都市）の開催概要について説明があり、今回は、本会に関連する分科会の開催はなかつこと、並びに来年以降の学術大会開催地の報告があった。

## 7. 実務委員会活動

本会ホームページ掲載の「ホームページに SDS 掲載のある主なメーカー一覧」を 6 月に更新し、現在「毒物・劇物事故対応マニュアル」の見直しを行っているとの報告があった。

## 8. 日本医薬品卸売業連合会（特に薬制委員会）との連携強化

小口副会長より、薬制委員会においての検討事項、本会との連携等について報告があった。また、委員として出席している厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会の報告があった。

## 9. 2025 年度上半期収支決算状況

上半期収支決算書により、進捗状況、会費納入状況、活動費申請状況等の報告があった。

## II 《常任理事より各ブロック（支部）の活動報告》

各常任理事より、総会・理事会及び研修会について、それぞれの進捗状況並びに問題点等の報告があった。その中で、コロナ禍以降の研修会等開催方法の変化に伴う運営方法についてなど、活発な協議が行われた。

## 【検討事項】

### 1. 2025 年度「フォーラム」について

報告事項で連絡のあった 2025 年度「フォーラム」のタイムスケジュール等、詳細について説明があり、プログラム案のとおり開催することで承認された。

### 2. 2025 年度第 2 回常任理事会日程について

2025 年度事業計画のとおり、2025 年度第 2 回常任理事会を 2026 年 3 月 12 日に開催することとした。

### 3. 2026 年度第 49 回理事会並びに「研修会」について

第 49 回理事会並びに「研修会」を 2026 年 4 月 17 日、トラストシティカンファレンス・丸の内に於いて開催予定との報告があり、事務局が作成したタイムスケジュールに沿って開催することが承認された。

### 4. 准会員入会の承認について

神奈川支部及び宮崎県支部より提出された准会員入会申込み（2 名）について検討し、入会が承認された。

### 5. 年会費の改定について

事務局より年会費改定についての提示があり検討した。年会費の改定は概ね賛同されたが、各ブロック（支部）において予算編成の問題があるため、各常任理事がこの件について持ち帰り、状況を確認することとなった。また、年会費改定に伴う事業内容の新たな取り組み等を再度執行部で検討し、各支部の状況と併せて次回常任委員会で協議を行い、2026 年度理事会の議案として上程を目指すこととなった。

常任理事会での報告と協議が終了し河西副会長の挨拶の後、閉会となった。

年月日 12.5

関連会議等 第2回正副会長会議 第4回実務委員会合同会議

### 協議・決定等特筆事項

師尾会長より開会の挨拶があり、榊原実務委員へ委嘱状が手渡された。その後、2025年度「フォーラム」並びに2026年度の本会主催の行事等について検討した。

#### 【報告事項】

1. 2025年度実務実習薬学生受入状況報告について  
事務局より、第3期終了時の2025年度実務実習薬学生受入状況について報告があった。
2. 令和7年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会について  
事務局より、日本薬剤師会からの案内に基づき12月19日開催予定の研修会について報告があった。

#### 【検討事項】

1. 2025年度「フォーラム」について  
2025年度「フォーラム」について開催方法並びに内容等を検討した。現在83名の受講申し込みがあり、ライブ配信のみで開催することを確認した。また、開催日の1月23日は第5回実務委員会も併せて行い、進行等について最終確認を行うこととした。
2. 2026年度継続研修会テーマの選定について  
2026年度継続研修会のテーマについて検討し、①脂質異常症②ワクチン③不眠症 ④片頭痛⑤診療報酬改定⑥薬機法等一部改正の6項目を提示することとした。
3. 2026年度の会議、委員会日程及び実務委員会検討事項について  
2026年度の会議、委員会日程については、事務局が提示した案に沿って開催することとした。また、実務委員会の検討事項については、2025年度の事業を引き続き遂行することとし、研修実施体制について内容の見直し並びに情報発信の強化を図り、会員への情報提供として実務に即した資料作成等を行うことについて検討することとした。また、坂本副委員長より現在作業中の<毒物・劇物事故対応マニュアル>見直しの進捗状況について説明があった。
4. 2026年度「理事会」「研修会」について  
2026年度第49回「理事会」並びに2026年度「研修会」については、現在進めている事務局案に基づき、2026年4月17日にトラストシティカンファレンス・丸の内にて開催することを確認した。進行及び運営については、第5回実務委員会にて引き続き検討することとなった。また、「研修会」はハイブリッド形式で開催することとした。
5. 年会費改定について  
2025年度第1回常任理事会に提案した本会の年会費改定について再度検討した。今後、収入増額分の活動内容をさらに精査し、2025年度第2回常任理事会に諮り、2026年度理事会に上程することとなった。

## 6. その他

本会創立 50 周年記念事業について、開催日並びに記念事業内容等について意見交換を行った。開催日については、2027 年 4 月 23 日を第一候補として今後の協議を進め、記念講演会、祝賀会を中心に検討することとなった。

合同会議のすべての協議が終了し、小口副会長の挨拶があり閉会となった。